



## ◇布引支部だより

### ●今年もやって来たモリアオガエル君！

布引山への毎日登山コースは色々ありますが、大圓山徳光院の境内を通過して各署名所へ行くコースもその内の一つです。皆様が徳光院の名をご存じなのは、近年、隠れた紅葉の名所として観光案内などでも知られるようになったからだと思うのですが、この境内の魅力はなにも深秋の季節だけではなく！境内の木々が芽を吹き、鮮やかな新緑に覆われる初夏や、凍てついた境内にうっすらと雪化粧してくれた厳冬の早朝も又、趣のある素敵な場所となります。

そして、そんな季節の合間の一時期、梅雨入り後しばらく楽しませてくれるのが、境内にある小さな池の傍の木々に産卵したモリアオガエルの黄白色の卵塊です。今年は全部で5個の



布引徳光院境内の池にて

卵塊を見ることが出来ました。約1週間余りで卵が孵化するようですが、孵化したオタマジャクシは白い泡の塊の中で雨を待って、雨で溶けて崩れる泡の塊とともに、下の水面へ次々と落下します。オタマジャクシは1ヶ月ほどかけて成長するのですが、この池には外来種であるミドリガメが数匹捨てられて（飼うのが面倒になった？）おり、今や我がもの顔で甲羅干しをしています。自然の池ですと、ゲンゴロウやヤゴ、アカハライモリなどが天

敵とされていますが、ここではこのミドリガメが天敵で、オタマジャクシは生き延びるのが大変であろうと推測されます。どうか生き延びて、又来年も次世代へ繋ぐ子供達を沢山生んでほしいと願うばかりです。

.....

### ●5名様が目出度く傘寿を迎えられました！

今年、ヒヨコ会員の中で傘寿を迎えられた方は23名おられ内 布引支部会員では男性2名女性3名 合計5名の方が目出度く傘寿を迎えられました！



満80歳になられた皆様傘寿おめでとうございます。

傘寿は数え年で80歳になられた方の長寿をお祝いする習慣として引き継がれてきましたが、近年は医療技術の発展等によって平均寿命が益々延びていることから、満年齢での傘寿祝いをされる人が多くなっています。

今から64年前、ヒヨコの先人達が「満70歳に達した会員を、70歳以下の会員でお祝いしよう！」と立ち上げた「ヒヨコ敬老会」。その8年後には「ヒヨコ福寿会」と名を改め祝いの行事を行ってきましたが、祝われる側の長寿がどんどんと進み、もはや70歳（古希）どころか80歳（傘寿）すら老人扱いする歳ではない！！・そんな時代となっています。



傘寿を迎えられ益々若々しいMさん！

米寿（88歳）？卒寿（90歳）？、いやいや  
白寿（99歳）を飛んで目出度く百寿（100  
歳）。

「人生100年！元気な100歳！」は夢では  
なく、もうそんな時代になってきています。

1年半後に向える「ヒヨコ登山会創立100周年  
記念祝賀会」では傘寿以上の会員様が主役  
となります。どうか皆様、益々お元気で毎日  
登山を含めた日々のご活動を行って頂きます  
様、願ってやみません。 (H・

Y)

.....

●念願の〇〇・・・記事記載予定